

温度試験と製品検査

■ 熱電対・測温抵抗体の比較校正サービス

校正が必要な第一の理由として、測定器にも経年変化や摩耗あるいは何らかの不慮の事態によって、測定器が正しい値を表示しなくなることがあるということが挙げられます。また、国際的な品質保証規格の ISO9000 にも、“定められた間隔で、国際又は国家計量標準にトレース可能な計量標準に照らして校正又は検証する”の記述があるように(計測機器管理の参照規格の ISO 10012 にも同様の記述があります)、計測機器の校正というのは大変重要なことなのです。弊社では温度試験だけでも、低価格・短納期で校正させていただきます。お気軽にお問い合わせください。但し、現地出張による校正サービスや定点測定法による温度試験は行っておりません。弊社の標準器は日本電気計器検定所(JEMIC)で JCSS 校正を定期的に受けており、トレーサビリティが確立されています。また、温度試験炉・0℃校正用試験槽など、充実した設備を備えておりますので、極端に太い・長い・短いなど様々な測温体の試験が行えます。その他、温度試験データや、応答速度試験データ、再現性試験データ、耐電圧試験、振動試験、耐圧気密試験等もご要望にお応え致します。特殊形状測温体などの校正の場合もお問い合わせください。



	校正温度(℃)	必要長さ(mm)	可能保護管径(mm)
熱電対 R・S・B・N・K・E・J・T	-30~100	100	0.5~8.0
		220	~12.0
	~400	300	0.5~8.0
		400	~12.0
白金測温抵抗体 Pt100・JPt100 (3線式・4線式)	-30~100	80	1.4~6.0
		150	~12.0
	~150	80	1.4~3.2
		220	~15.0
	~350	220	1.4~8.0
	400	~15.0	

※校正は対象品を薬品で洗浄後に行いますが、対象品の付着物によっては校正後に表面が着色することがあります。
 ※校正のための前処理をご希望される場合は、ご相談に応じます。
 ※校正品の状態(センサ構造・分解能、履歴など)及び校正条件(電流値など)で、校正の最高能力は異なります。
 ※白金抵抗温度計の校正値は電流0.5mAの抵抗値が標準です。電流は1mA、2mA、も指定できます。

● 温度試験成績証明書 見本

Thermocouple Test Report Sheet
熱電対検査成績書

御中

Test No. 87555555-01

Date of Test 2015年9月22日

Room Temp. 25℃

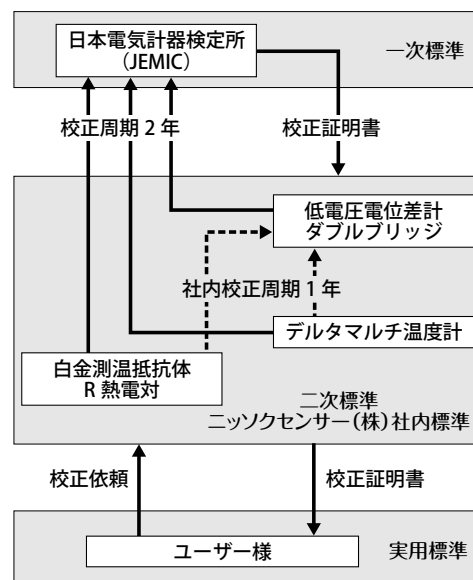
Drawing No. 基準品番号	1				2				Insulation Resistance 絶縁抵抗	Pressing Tub & Sheath 保護管及びシース					
	1000℃	1100℃	1200℃	1300℃	1000℃	1100℃	1200℃	1300℃							
Serial No. 製作番号	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	Error 誤差	500V DC (MΩ)	Diameter 外径φ	Length 長さmm			
000000	-0.006	-0.146	-0.006	-0.46	-0.007	-0.30	-0.005	-0.38	-0.005	-0.38	100	1500	600/500		
000000	-0.008	-0.62	-0.013	-1.20	-0.014	-1.00	-0.008	-0.58	-0.012	-0.92	-0.013	-0.53	φ	φ	600/450

Standard Calibration
低電圧電位差計) Na.58VE0001 JEMIC No.111-151108-100
 (デジタルマルチ温度計) Na.91H43593 JEMIC No.011-153652-150
 標準測定器 Type. R No.8080701 JEMIC No.011-153651-100

備考 適用規格: JIS C 1602-1995.1602-2015
 基準点温度は0℃です。
 比較校正への熱電対挿入深さは300mmです。

Judgment **good**

● 比較校正温度試験体系図



熱電対

シース熱電対

測温抵抗体

シース
測温抵抗体

用途別測温体

保護管

端子座・
接続部品

固定用標準部品

被覆熱電対線・
接続導線

温度試験と
製品検査

取扱い上の注意

取付・
参考技術資料